

統

検

計

定

データから情報をとりだす力

CBT方式

CBT (Computer Based Testing)とは、
コンピューターを使用した試験方式のことです。
コンピューターのディスプレイに問題が表示され、
マウスやキーボードを使って選択肢を選んだり、
答えを入力したりして解答します。

全国主要都市
約320か所以上の
試験会場で実施



日本統計学会公式認定

総務省後援・文部科学省後援・経済産業省後援・内閣府後援・厚生労働省後援





統計検定とは？

「統計検定」は、統計に関する知識や活用力を評価する全国統一試験です。
 データに基づいて客観的に判断し、科学的に問題を解決する能力は、仕事や研究をするための21世紀型スキルとして国際社会で広く認められています。日本統計学会は、国際通用性のある統計活用能力の体系的な評価システムとして統計検定を開発し、様々な水準と内容で統計活用力を認定しています。



CBT方式試験とは？

- ▶ コンピューターを使用した試験方式のことです。
 選択肢から1つだけ選択する択一式や、複数を選択する複数選択式、数値を入力する形式などで出題されます。
- ▶ 従来のPBT（Paper Based Testing）方式と同じ資格を得ることができます。
- ▶ 全国主要都市を含む約300か所以上のPCスクールや教育機関で受験ができます。会場は順次追加していきます。
- ▶ 試験直後に結果（試験結果レポート）が提示されます。

データの分析

データの分析において重要な概念を身に付け、身近な問題に活かす力

3級

大学基礎統計学の知識として求められる統計活用力を評価。4級の内容に加え、標本調査、データの散らばり、2変数の相関、確率などを含む。

資料の活用

データや表・グラフ、確率に関する基本的な知識と具体的な文脈の中での活用力

4級

統計表やグラフ、調査・実験、確率の基礎と活用の知識に関する学習の理解度を評価。統計的問題解決の方法、データの収集、統計グラフ、データの集計、データの代表値、分布の散らばりの尺度とグラフ表現、クロス集計表、時系列データの基本的な見方、確率の基礎など。

統計学の活用力 — 実社会の課題に対する適切な手法の活用力

準1級

2級までの基礎知識をもとに、実社会の様々な問題に対して適切な統計学の諸手法を応用できる能力を評価する。各種統計解析法の使い方および解析結果の正しい解釈。

大学基礎統計学の知識と問題解決力

2級

大学における「統計学分野の教育課程編成上の参照基準」に示されている大学基礎科目レベルの統計学の知識の習得度と活用のための理解度を問う。

統計に関する基本的知識と利活用

統計調査士

統計の役割、統計法規、公的統計が作成される仕組み等に加えて、主要な公的統計データの利活用方法に関する正確な理解を問う。



調査の実施に関する専門的知識の修得とデータの利活用

専門統計調査士

調査の企画・管理、ならびにデータの高度利用の業務に携わる上で必要とされる、調査企画、調査票作成、標本設計、調査の指導、調査結果の集計・分析、データの利活用の手法等に関する基本的知識と能力を評価する。

Ds データサイエンス基礎

具体的なデータセットをコンピュータ上に提示して、目的に応じて、解析手法を選択し、表計算ソフトExcelによるデータの前処理から解析の実践、出力から必要な情報を適切に読み取る一連の能力を評価する。

Ds データサイエンス発展

「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」のモデルカリキュラムに準拠した内容。具体的には、数理、情報、統計、倫理・AIに関する大学教養レベルの内容を評価する。

Ds データサイエンスエキスパート

「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」の応用基礎レベルのモデルカリキュラムを含む内容。具体的には、計算、統計、モデリング、領域知識に関する大学専門レベルの内容を評価する。

各種別の出題範囲は、統計検定ウェブサイトをご覧ください。▶
 一般財団法人統計質保証推進協会 統計検定センター



E-Mail: webmaster@toukei-kentei.jp